

基本目標4 生涯を通じた男女のこころとからだの健康支援

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を踏まえ、男女が互いの身体的性差を十分理解し合い、相手に対する思いやりを持てるよう情報提供や学習機会の充実を図ります。また、性的マイノリティ、性の多様性についての理解を深める取組を推進します。

施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

7 生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援

(13) 女性の健康保持のための事業の充実

32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるよう啓発や情報提供に努めます
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます

(14) 性差に応じた健康支援の推進

35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます

(15) 生涯にわたるスポーツ活動の推進

37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します
----	----------------------------------

(16) 食育の推進

38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします
----	-------------------------------

8 こころとからだの健康に関する学習機会と情報の提供

(17) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）という考え方の浸透

39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます
----	---

(18) 健康保持のための健康教育、健康相談等の推進

40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します

(19) 思春期におけるこころとからだの健康づくり

42	年齢に応じた性教育を推進します
43	子どもの成長の段階を踏まえ、思春期の人工妊娠中絶やH I V感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます

(20) 性的マイノリティの理解推進と支援

44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります
----	--

施策の基本的方向7 生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援

(具体的施策 13) 女性の健康保持のための事業の充実

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるよう啓発や情報提供に努めます	<p>広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。</p> <p>〔実施講座名〕アンガーマネジメント講座 〔実施日〕8, 9月, 12月～3月 (月1回・全6回) 〔参加者〕のべ55人</p> <p>〔実施講座名〕思春期教育講演会 性暴力被害から子どもを守る 〔実施日〕令和3年2月22日 〔参加者〕28人</p>	<p>アンガーマネジメント講座はこころの健康について考える講座であり、思春期教育講演会については、思春期のからだところの変化や課題を考える講演会である。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、どちらとも、申込率・受講後の満足度ともに高い結果となっている。対面とオンラインを有効に活用し、引き続き実施し、健康を考える機会を提供していく。</p>	継続	人権・男女共生課
		<p>妊娠期における家族の健康づくりについて、体験型の健康教育を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕健康づくりセミナー(パパ&ママクラス) 〔実施回数〕6回 〔参加者〕978人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、パパ&ママクラスにおける健康づくりセミナーを中止した。今後も参加者の密集を避ける必要があることから、オンラインでの情報発信など、新しい生活様式に沿った開催方法を検討する必要がある。</p>	廃止	健康づくり課
		<p>女性に特有な健康課題についての啓発や情報提供に努めた。</p> <p>〔事業実施名および実績〕 妊娠届出時及び妊婦健康診査受診券交付届時面接 2,547人</p>	<p>引き続き、事業実施時に女性に特有な健康課題の啓発資料等について情報提供を行う。</p>	継続	子育て支援課
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します	<p>母子健康手帳交付時面談時、保健指導を行った。訪問や面接、電話等にて妊娠・出産期の健康課題について情報提供および指導を行った。</p> <p>〔事業実施名および実績〕 妊娠届出時面接 2,362人 妊婦訪問指導 101人(延べ) 産婦訪問指導 534人(延べ)</p>	<p>妊娠・出産という健康上大きな節目に対し、様々な機会を通して情報提供および指導を行えた。</p>	継続	子育て支援課
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます	<p>市広報に同封する健診ガイドや健診チケットの送付、ホームページでの周知によって、意識づけの向上を図った。また、レディース5がん検診や保育付き検診の実施など、引き続き受診しやすい環境整備に努めた。</p>	<p>市広報に同封する健診ガイドや健診チケット、受診勧奨はがきを送付した。また、ホームページでの周知も行った。レディース5がん検診や保育付き検診を実施しており、一定程度の環境は整備されてきている。ただし、まだまだ保育付き検診における保育利用者数はそれほど多くないため、より多くの周知が必要である。</p>	継続	健康づくり課

(具体的施策 14) 性差に応じた健康支援の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います	性差による疾病や症状に対し、相談や医療機関等の情報提供に努めた。医師・歯科医師による来所型の健康相談を実施した。 〔事業実施名〕 総合健康相談 〔実施回数・参加人数〕 6回5人	令和2年度の稼働率は、医師は25%（3人/12枠）歯科医師は17%（2人/12枠）であった。相談者が65歳以上の方のみであること、相談者にはかかりつけ医・歯科医があることにより、医師・歯科医師による総合健康相談を廃止する。	廃止	健康づくり課
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます	女性のための相談（電話・面接等）の充実を図った。 〔実施事業名〕 ローズWAM相談事業 〔事業内容〕 ①女性面接相談 ②女性電話相談 〔相談件数〕 ①494件②1,590件	相談件数は、昨年と比較して、電話相談が増加し、面接相談は減少したが、総件数は増加しており、コロナ禍でのストレスが影響していると考えられる。今後も引き続き、相談できる場所の存在意義を再確認しながら、継続して実施していくとともに、多様な媒体を通じた相談体制を検討していく。	継続	人権・男女共生課
		男性の電話相談を実施した。 〔実施事業名〕 ローズWAM相談事業 〔事業内容〕 男性電話相談 〔相談件数〕 47件	相談件数は、昨年と比較して115%と増加しており、コロナ禍でのストレスが影響していると考えられる。今後も引き続き、相談できる場所の存在意義を再確認しながら、継続して実施していく。	継続	人権・男女共生課

(具体的施策 15) 生涯にわたるスポーツ活動の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地区スポーツ・レクリエーション大会は全地区中止。	感染症拡大防止対策を講じながら実施する。参加者数が減少している状況もふまえ、引き続きポスターや広報誌で周知することで参加者を増やす。	継続	スポーツ推進課

(具体的施策 16) 食育の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします	出前講座等で食事バランス診断SATシステムを使用した食事バランス等のアドバイスを実施した。 〔事業実施名〕 ①健康づくりセミナー （若年健康診断時健診時教育） ②食育システム出前講座 〔実施回数・参加者〕 ①9回148人 ②1回20人	食事バランス診断SATシステムを使用した出前講座について、感染症対策（消毒等）が難しいことや、参加者が密集しやすいことから、実施が困難であった。また、啓発イベントについても、参加者の密集を防ぐため実施できなかった。今後は効果的な実施方法について検討する。	縮小	健康づくり課
		保育所等において食育年間計画を作成し、栄養士と連携しながら食育活動を進めた。保育所・幼稚園においては、園・所児が食べることを楽しみにできるように日々の生活の中で食にかかわる体験や栽培活動に取り組んだ。	保育所（園）・幼稚園・認定こども園において、食育活動を通して食材や調理方法に興味・関心を持つことができた。また食べる意欲につなげることができたので今後も日々の生活の中で食に関わる体験等を様々な教材や経験を通してつなげていく。	継続	保育幼稚園総務課

施策の基本的方向8 ころとからだの健康に関する学習機会と情報の提供

(具体的施策 17)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)という考え方の浸透

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます	保健医療課と連携し、デートDVや若年者の妊娠など思春期をとりまく性に関する勉強会を開催した。 〔実施講座名〕思春期教育講演会 性暴力被害から子どもを守る 〔実施日〕令和3年2月22日 〔参加者〕28人	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、申込率・受講後の満足度ともに高い結果となっている。対面とオンラインを有効に活用し、引き続き実施し、健康を考える機会を提供していく。	継続	人権・男女共生課
		保健師等が妊産婦及び乳幼児の保護者に対する保健指導を通し、情報提供に努めた。また、不妊治療等の相談窓口についてホームページで周知・啓発した。 〔実施事業名および実績〕 訪問指導 2,347件 面接指導 696件 電話指導 7,252件 特定不妊治療費助成 120件 不育症治療費助成 5件	前年度と比較し、訪問指導は大きく減少しており、特定不妊治療費助成および不育症治療費助成は横ばい、面接指導、電話指導はやや減少した。特に訪問指導が減少した要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による地区活動の減少があり、今後、支援体制の整備について検討する必要がある。	継続	子育て支援課
		新型コロナウイルス感染拡大の影響から開催に至らなかった。 〔事業実施名〕思春期保健事業講演会	思春期保健の担い手である市保健師や小・中学校の教職員等が性の現状や性に関する取り組み等について学ぶ機会を設け、妊娠・出産の正しい知識の普及・啓発を行うために、今後も関係機関と調整を行い、実施していきたい。	継続	子育て支援課

(具体的施策 18)健康保持のための健康教育、健康相談等の推進

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。 〔実施講座名〕アンガーマネジメント講座 〔実施日〕8、9月、12月～3月 (月1回・全6回) 〔参加者〕のべ55人 〔実施講座名〕ゆるやか女子会(生きづらさを感じる女性対象講座) 〔実施日〕8、9月、12月～3月 (月2回・全13回) 〔参加者〕のべ59人 実施講座名)ゆるやか講座「アサーションによる心地いいコミュニケーション」〔実施日〕8月22日、23日 (全3回) 〔参加者〕のべ23人	ころの健康について考える講座であり、申込率・受講後の満足度ともに高い結果となっている。今後も引き続き実施し、健康を考える機会を提供していく。	継続	人権・男女共生課

40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	<p>様々な啓発活動の機会を利用し、健康管理等についての知識や情報の提供を実施した。</p> <p>〔事業実施名〕</p> <p>①健康づくりセミナー (若年健康診査時健診時教育)</p> <p>②健康づくり出前講座</p> <p>③禁煙相談</p> <p>④こころの相談室</p> <p>⑤栄養相談</p> <p>〔実施回数・参加者〕</p> <p>① 9回148人 ② 4回42人 ③ 457人(随時) ④ 16回18人 ⑤ 12回31人</p>	<p>パパ&ママクラスにおける情報提供については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。</p> <p>各種相談については、引き続き、市民が困った時に相談できる人・場を周知するとともに、感染症対策の観点から、来所での相談スタイル以外の手段についても検討する必要がある。</p>	縮小	健康づくり課
		<p>食育や健康教育を推進するため、子どもの状況を把握し、媒体を用いてより具体的な教育を実践した。</p>	<p>食育や健康教育を推進するため、子どもの状況を把握しつつ取り組み、内容を検討した。</p> <p>給食提供されない食材などについて触れることができないので、知らせ方が課題となる。</p>	継続	保育幼稚園総務課
		<p>食育や健康教育を推進した。</p>	<p>食育や健康教育を推進することで自分の健康について正確な知識や情報を提供することができた。</p>	継続	学校教育推進課
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します	<p>介護予防教室を開催した。</p> <p>①介護予防健康運動教室 〔実施回数〕 368回 〔参加者〕 4,271人</p> <p>②はつらつ教室等 〔実施回数〕 460回 〔参加者〕 4,399人</p>	<p>高齢者の介護予防に資する通いの場とするともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うフレイルを予防するため、自宅でもできる体操等の啓発に努めた。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による休止期間や利用定員を制限して実施したことによる参加者数の減。</p>	継続	長寿介護課

(具体的施策 19)思春期におけるこころとからだの健康づくり

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取り組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
42	年齢に応じた性教育を推進します	<p>健康診断や身体計測、保健指導等で自分の体を知り、場面や必要性に応じて、絵本やその他の教材を用いてその大切さに気付く機会を持つようにした。</p>	<p>健康診断や身体計測、保健指導等で自分の体を知り、体の大切さに気付くことができた。今後も引き続き、伝えていき、取り組みを継続していく。LGBTなどジェンダーに対しても保育者の意識を高めていかないと、気が付かないままになることが今後の課題である。</p>	継続	保育幼稚園総務課
		<p>人権教育授業プラン集パートⅡを配布し、児童・生徒の発達段階に応じた性教育を推進した。</p>	<p>児童・生徒の発達段階に応じた性教育を推進することができた。</p>	継続	学校教育推進課
43	子どもの成長の段階をふまえ、思春期の人工妊娠中絶やHIV感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	<p>小・中学校等へ思春期保健教育を実施した。</p> <p>〔事業実施名〕 思春期保健事業 〔実施回数〕 小学校1校 〔参加者〕 86人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施回数は減少した。今後も、思春期の子どもたちがこころとからだの変化を理解し、妊娠や出産、性に関する正しい知識を身につけるとともに、自尊心を高め、自分や周囲の人も大切にできることをテーマに、人権・男女共生課や学校教育推進課等関係機関と連携し、小・中学校における出前型講座を継続して実施していきたい。</p>	継続	子育て支援課

43	子どもの成長の段階をふまえ、思春期の人工妊娠中絶やH I V感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	小・中学校における喫煙防止教育を支援するため、小中学に対して、教材貸出の形で、学校教育の支援を実施した。 〔事業実施名〕教材貸出 〔実施回数〕1回 〔対象者〕175人	将来、喫煙しない選択が出来るよう、タバコに関する正しい知識や社会環境の変化について情報提供を行なうなど、学校での教育に対する支援を行う。 実績が低いことから、学校現場での防煙教育の現状を知り、教材内容・実施方法の見直しを行う必要がある。	廃止	健康づくり課
		スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、こころのケアを図った。	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、こころのケアをすることができた。	継続	学校教育推進課

(具体的施策 20) 性的マイノリティの理解推進と支援

	施策内容	令和2年度の取り組み内容	取組みに対する評価と今後の課題等	今後の方向性	担当課
44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります	セクシャルマイノリティに関する学習指導案を扱った「人権教育授業プラン集パートⅡ」の活用を促進した。	「人権教育学習プラン集パートⅡ」の活用については引き続き、市教育委員会が開催する研修の場で活用するように周知徹底を行う必要がある。	継続	学校教育推進課